E（イー）通信

エルフォルク

２０２６年１２月号

ＡＩの劇的な進化によって今まで１日かかっていたことが１時間で終わるような経験をした年でした。その反動か、年末年始はあえて手間ひまをかけてみたくなりました。年賀状に手書きで一言添えたり、時間をかけて出汁を取ったり「非効率」や「待つ時間」を楽しみながらゆく年くる年に思いをはせてみようと思います。

ＦＡ権行使の３選手　Carp

今年も残すところ１ヶ月となりました。　霜枯れの季節となり、冬の到来をいっそう間近に感じております。　目まぐるしい気温の変化、朝夕の厳しい冷え込みには十分ご注意ください。



さて、我らがカープ。

11/23「カープファン感謝デー2026」が開催された。　オフシーズンの恒例行事として毎年多くのファンが楽しみにしているイベントだが、この日の最大の注目は、国内 FA 権を行使して去就が注目されていた床田・森下・坂倉の３選手が姿を見せたことだ。　普段通りにファンと触れ合う選手たちの姿が話題となった。

森下については、DeNA が水面下で獲得調査を進め、３年総額 10 億円規模の大型契約を提示したことが判明した。　その後、球場を訪れた報道陣の問いかけには終始無言を貫いている。　また巨人やソフトバンクなど複数球団が獲得に乗り出しているとみられる。　板倉はすでにロッテ・西武との交渉を済ませており、床田は中日と初交渉を行って「いい話ができた、必要としてくれている」と手応えを語り、広島とも再度交渉を予定しているという。

一方の広島球団は３選手に対して年棒増と複数年契約を提示し、残留に向けた慰留に努めている。移籍か残留かの結論がまだ出ない中、ファンの前であくまで選手として振る舞った３人の様子に、球場とメディアの両面から強い関心が寄せられたが、感謝デーでは去就への直接の言及が避けられたことも伝えられている。　来季のカープ陣容が固まるまでファンの関心は続きそうだ。

そして翌日 24 日、「暴力団追放・違法薬物根絶講習会」がマツスタで行われ、新井監督をはじめ、選手・コーチ・スタッフら約 130 人が受講した。　新井監督は「ファンの方を裏切るようなことをしてはいけない」と改めて再発防止を誓った。

今季は「ゾンビタバコ」と呼ばれる指定薬物に絡む騒動に揺れた一年だった。　羽月が１月に逮捕され、その後有罪判決を受け、主力の小園や矢野ら計５人が退団。　動揺したチームは３年連続Ｂクラスとなる４位に沈んだ。　それだけに来季は信頼と誇りを取り戻し、市民球団としてファンから再び愛されるチームに生まれ変わらなければならない。　来年はプレーでファンを魅了し、再び広島の象徴となるチームを目指す。

頑張れカープ！！

エルフォルクはあなたを　そしてカープを　全力応援致します！

裏面もご覧ください。